

全国保健所における相談状況及び相談者教育の実態調査

HTLV-1 関連パンフレット使用状況及び内容に関する調査

全国都道府県 HTLV-1 母子感染対策協議会の設置及び活動

状況に関する調査

平成 23 年 12 月

厚生労働省科学研究費補助金（新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業）
「HTLV-1 感染症の診断法の標準化と発症リスクの解明に関する研究」

厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
「HTLV-1 キャリア・ATL 患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進」

相談状況及び相談者教育の実態調査

HTLV-1 関連パンフレット使用状況及び内容に関する調査

本研究事業で今後実施するHTLV-1 キャリア相談体制構築への支援や相談対応者への教育について、より有効な手段及び内容を検討するための事前調査として、HTLV-1 関連の相談窓口として指定されている全国の保健所 495 カ所を対象とし調査を実施しましたのでその結果についてご報告します。

調査票発送日：2011 年 12 月 13 日

調査票回収期限：2011 年 12 月 26 日

集計対象：2011 年 1 月 31 日までに調査担当事務局に到着した調査票で、無記名等により保健所が特定できないもの（3 通）を除く

《調査内容及び集計結果》

回収率：64%（318 通）

九州・沖縄地区 回収率：60%（49 通）

九州・沖縄地区以外 回収率：65%（269 通）

※ 下記該当する項目に○もしくは、記載項目への記載をお願いします。

I. 相談状況及び相談者教育の実態調査

1. 厚生労働省から発表された HTLV-1 総合対策で HTLV-1 キャリアの相談窓口として保健所が指定されている事をご存知ですか。

地域	(ア) はい	(イ) いいえ
北海道	17	
東北	30	
関東甲信越	77	
東京	22	
東海北陸	35	2
近畿	42	1
四国中国	43	
九州	45	
沖縄	4	
総計	315 (99%)	3 (1%)

2. 保健所が HTLV-1 キャリアへの対応として相談及び検査を行えることをあなたの所属する機関（もしくは部署）で一般向けに広報（ホームページや保健所内に案内を提示する等）していますか。

地域	(ア) はい	(イ) いいえ	無回答
北海道	6	11	
東北	6	23	1

関東甲信越	15	62	
東京	3	19	
東海北陸	7	30	
近畿	4	39	
四国中国	8	34	1
九州	20	23	2
沖縄	1	2	1
総計	70 (22%)	243 (76%)	5 (2%)

3. HTLV-1 関連疾患の患者もしくはキャリアと接した、もしくは相談に対応した経験はありますか。
経験があると回答した方は該当するものに○を付けて下さい。

(ア) 全くない

(イ) 部署内で経験している (キャリア ・ ATL ・ HAM ・ ぶどう膜炎)

(ウ) 対応したことがある (キャリア ・ ATL ・ HAM ・ ぶどう膜炎)

地域	(ア)	(イ)	(ウ)	無回答
北海道	11	2	4	
東北	24	2	4	
関東甲信越	66	6	4	1
東京	16	5	1	
東海北陸	29	2	6	
近畿	32	7	4	
四国中国	29	8	6	
九州	16	11	18	
沖縄	1		3	
総計	224 (70%)	43 (14%)	50 (16%)	1

《エリア別の対応状況》

エリア別	(ア)	(イ)	(ウ)
九州・沖縄以外 (回答数/エリアでの合計 回答数)	207 対応経験 なし (77%)	32 対応経験 あり (23%)	29
九州・沖縄 (回答数/エリアでの合計 回答数)	17 対応経験 なし (35%)	11 対応経験 あり (65%)	21

(イ) 対応の内訳 (キャリア ・ ATL ・ HAM ・ ぶどう膜炎) ※複数回答

地域	キャリア	ATL	HAM	ぶどう膜炎
北海道	2		1	
東北	1	1		
関東甲信越	5	1		
東京	5			
東海北陸	1	1	1	
近畿	7	1	1	
四国中国	7	1		
九州	7	3	3	
沖縄				
総計	35	8	6	0

(ウ) 対応の内訳 (キャリア ・ ATL ・ HAM ・ ぶどう膜炎) ※複数回答

地域	キャリア	ATL	HAM	ぶどう膜炎
北海道	2		2	
東北	4			
関東甲信越	3	1		
東京	1			
東海北陸	6		1	
近畿	3		1	
四国中国	5	2	1	
九州	14	4	3	
沖縄	3			
総計	41	7	8	0

《エリア別に見た (イ) (ウ) の回答数の合計》

エリア別	キャリア	ATL	HAM	ブドウ膜炎
九州・沖縄以外	52	8	8	0
九州・沖縄	24	7	6	0

4. HTLV-1 関連の相談件数は月に何件程度ですか

- (ア) 0人
- (イ) 3人未満
- (ウ) 3人以上 10人未満
- (エ) 10人以上

地域	(ア)	(イ)	(ウ) (エ)	無回答
北海道	13	4		
東北	28	2		
関東甲信越	70	7		
東京	16	6		
東海北陸	31	6		
近畿	35	8		
四国中国	32	11		
九州	29	16		
沖縄	1	3		
総計	255	63	0	1

《エリア別の回答数》

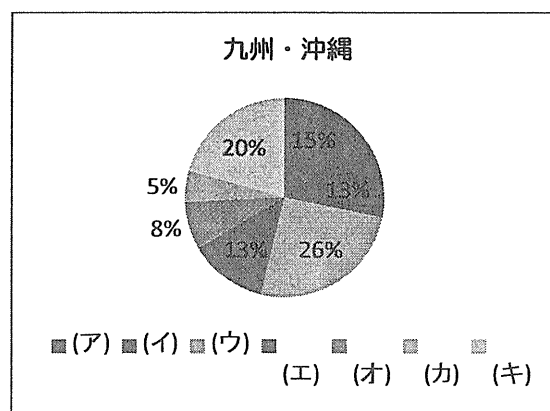
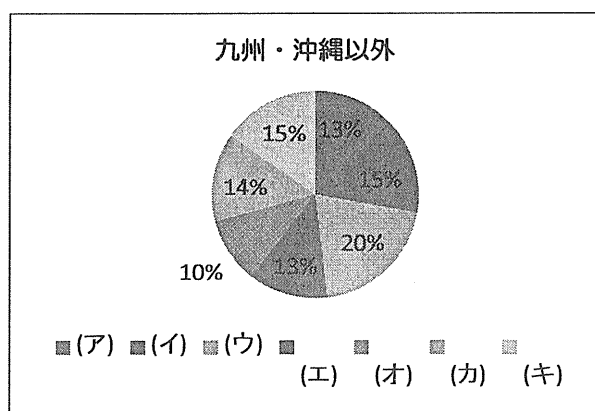
エリア別	(ア)	(イ)	(イ) / エリアでの回答数合計
九州・沖縄以外	225	44	16%
九州・沖縄	30	19	39%

※ 4、で(イ)、(ウ)、(エ)と回答された方は下記にお答えください。

① 相談内容について下記該当するものに○を付けて下さい。(複数回答可) ※上位3項目

	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 抗体検査の希望	10	6	16
(イ) 検査方法及び検査結果について	12	5	17
(ウ) HTLV-1 関連の病気について	16	10	26
(エ) 児への影響について	10	5	15
(オ) 授乳方法(母乳・人工乳・短期母乳等)について	8	3	11
(カ) 専門医や専門の医療機関について	11	2	13
(キ) その他	12	8	20
回答数合計	79	39	

《エリア別に見た回答項目の割合》



4

(キ) の具体的な内容

【九州・沖縄以外】

- 社会資源制度について
- 数年前の出産時に抗体検査をしていたか
- HTLV-1 とは何ですか
- 輸血による影響
- 相談機関、制度について
- 感染経路
- 公費負担制度について
- 感染について
- 10年前の献血でキャリアと判定されたが、説明がなかった為相談
- 医療機関からのパンフレットの問い合わせ
- 医療費について

【九州・沖縄】

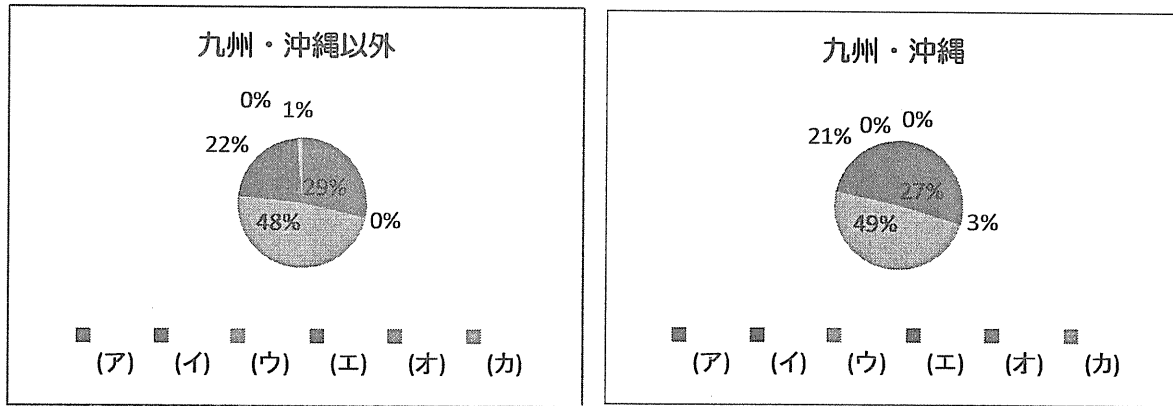
- 医療機関より児の追跡調査についての問い合わせあり。
- 判定保留中の妊婦より「どうしたらよいか」と相談あり不安な気持ちを傾聴し、判定保留中でもあり、主治医とよく話すよう伝える。
- 経済的な支援について
- 病気の経過と麻痺などに対する不安・医療費など経済的不安、医療相談会、患者会について、遺伝について
- 針刺し事故
- 夫婦間感染について
- 夫がキャリア、抗体検査をした方が良いかどうか
- 感染経路、予防方法
- 日常生活についての諸注意等

② 相談に対応するためにどのような資料を使用していますか。(複数回答可) ※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 厚生労働省及び関連ウェブサイト (厚生労働省・HTLV-1 情報サー ビス)	22	10	32
(イ) その他のウェブサイト	0	1	1
(ウ) パンフレット (HTLV-1 キャリア のみなさまへ、よくわかる詳しく わかるHTLV-1、HTLV-1 キャ リア指導の手引)	37	18	55
(エ) 研修会等で配布された資料	17	8	25
(オ) 資料がある事を知らない	0	0	
(カ) その他	1※	0	1
回答数合計	77	37	

※ 回答：県庁から治療可能な病院等まとめた情報

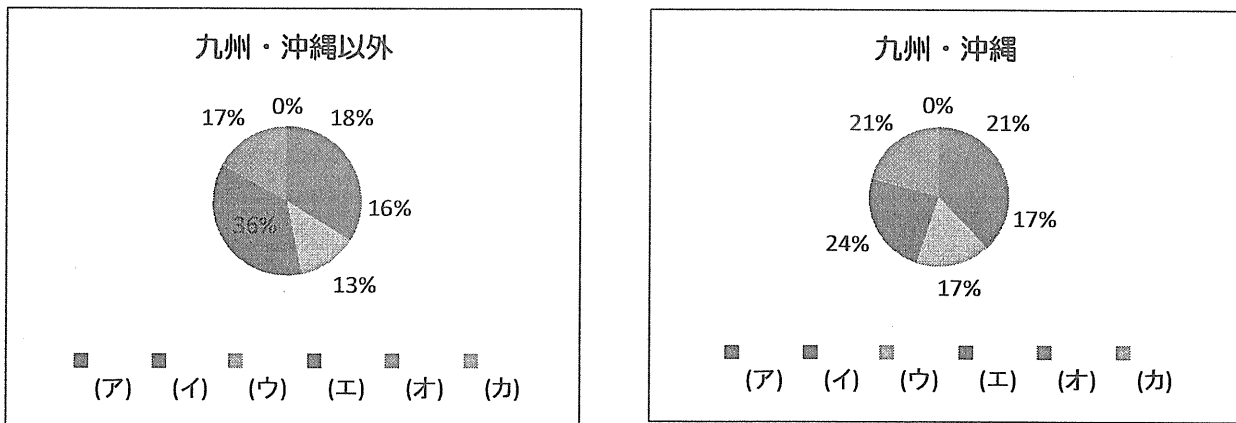
《エリア別に見た回答項目の割合》



③ 相談に対応する際に、今一番必要な情報は何か。※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 授乳方法（母乳・人工乳・短期母乳等）に関する情報	14	6	20
(イ) 検査方法や判定保留時の対応に関する情報	12	5	17
(ウ) HTLV-1 関連疾患に関する情報	10	5	15
(エ) 専門医や専門となる医療機関情報	28	7	35
(オ) HTLV-1 キャリアのコミュニティやカウンセリングに関する情報	13	6	19
(カ) その他（内容： ）	0	0	0
回答数合計	77	29	

《エリア別に見た回答項目の割合》



④ 保健所での相談対応を行う上での問題点・要望等

【九州・沖縄以外】

- 検査結果で陽性判定保留時のその後の対応について整備されていない。フォロー体制が決まっていない。

- 専門知識の不足
- 行政機関等相談担当者を対象とした研修会の開催
- 市町村単位の研修開催
- 研修会等の機会が少なく、知識を得る場が十分でない
- 感染の不安がある方が検査を受けられる機関が不足している
- 研修等も受けておらず、具体的な相談に対応できない
- 母子担当と感染症担当との両方が担当となっているが、連絡、連携が取れていない。情報が一本化されていないところが問題
- キャリアと確定された後の医療機関でのフォローアップ体制（治療方針を含む）を確立してほしい
- 医療機関での相談や情報提供の体制の整備を望みます。そのうえで、地域と医療が連携していく体制を作り、相談に乗っていければ妊婦を含めキャリアの方の不安軽減にもなると思います。

【九州・沖縄】

- 困難事例について相談できる専門機関が欲しい。相談対応可能者が少ない。（まだ研修が追い付いていない）
- 検査を行って陽性の場合、予後も未知でありその後のフォローが十分に行えないこと

5. 今年4月以降、HTLV-1 関連に関する（妊婦健診や感染、診断、治療全般）相談が増えましたか。

地域	(ア) 増えた	(イ) 増えていない	無回答
北海道	1	16	
東北		29	1
関東甲信越		76	1
東京		22	
東海北陸	1	36	
近畿	4	37	2
四国中国	1	42	
九州		44	1
沖縄		4	
総計	7	306	5

6. 保健所内で HTLV-1 抗体検査を実施していますか。実施していない場合はその理由をお答えください。

地域	(ア) はい	(イ) いいえ	無回答
北海道	5	11	1
東北		30	
関東甲信越	4	73	

東京		22	
東海北陸		37	
近畿	3	40	
四国中国	11	32	
九州	20	24	1
沖縄	3	1	
総計	46	270	2

《エリア別回答数及びその割合》

エリア別	(ア) はい	(イ) いいえ
九州・沖縄以外 (回答数/エリア回答合計)	23 (9%)	245 (91%)
九州・沖縄 (回答数/エリア回答合計)	23 (48%)	25 (52%)
総計	46	270

(イ) 実施していない理由

【九州・沖縄以外】

- 準備段階・実施準備中 (14 件)
- 都道府県の方針 (17 件)
- 事業化していない (4 件)
- 予算化されていない。予算算定困難。(9 件)
- 体制が整っていない(相談、検査、フォロー等) (58 件)
- ニーズがない。相談者がいない。優先順位が低い。(6 件)
- 判定保留時の対応に有益な情報提供ができない。
- 特定感染症検査等事業の中に、項目としては含まれているが、検査実施の意義や検査時相談検査後のフォロー体制等について、部署内での十分な話し合いが出来ていないため

【九州・沖縄】

- 都道府県の方針 (10 件)
- 妊婦健診(産科等医療機関)で実施する事になっている。(3 件)
- 準備段階・実施準備中 (1 件)
- 採血のみ実施、検査は件数が少ないため外部委託。

7. HTLV-1 関連の講演や研修等がありましたか。

地域	(ア) 開催されていない	(イ) 開催された	(ウ) 開催予定がある	無回答
北海道	4	13		
東北	26	3	1	
関東甲信越	16	49	11	1

東京	11	9	1	1
東海北陸	12	25		
近畿	34	9		
四国中国	10	33		
九州	17	28		
沖縄	1	3		
総計	131	172	13	2

《エリア別回答数及びその割合》

エリア別	(ア)	(イ)	(ウ)
九州・沖縄以外 (回答数/エリア回答合計)	113 (42%)	141 (53%)	13 (5%)
九州・沖縄 (回答数/エリア回答合計)	18 (37%)	31 (63%)	0 (0%)

※7で(イ)と回答された方は下記お答えください。

① 開催された内容は何ですか。(複数回答可) ※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 授乳方法(母乳・人工乳・短期母乳等)に関する情報	110	26	136
(イ) 検査方法や判定保留時の対応に関する情報	88	23	111
(ウ) HTLV-1 関連疾患に関する情報	116	27	143
(エ) 専門医や専門となる医療機関情報	37	17	54
(オ) HTLV-1 キャリアのコミュニティやカウンセリングに関する情報	38	14	52
(カ) その他	10	2	12
回答数合計	399	109	

(カ) その他の内容(九州・沖縄以外からのみ回答)

- HTLV-1 キャリア産婦への指導について
- 厚労省の説明の伝達研修(TV会議)
- 母子感染について
- HTLV-1 対策について、HAMについて
- 母子感染予防について
- 行政担当者向け
- 検査相談支援体制、妊婦における実施について

● HTLV-1 総合対策の経緯と内容

② 開催された際の参加人数についてお答えください。※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 10人以下	7	1	8
(イ) 11人～20人	8	1	9
(ウ) 21～50人	46	6	52
(エ) 51人～100人	48	10	58
(オ) 101人以上	21	11	32

③ 開催母体はどこですか。(複数回答可) ※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 所属部署(課)	12	2	14
(イ) 所属機関(保健所)	8	1	9
(ウ) 母子感染対策協議会	1	1	2
(エ) 都道府県	112	27	139
(オ) 医師会	7	2	9
(カ) その他	8	1	9

(カ) その他の内容(九州・沖縄以外からのみ回答)

- 外郭団体(県の委託)
- 部長
- 国立保健医療科学院
- 県内他保健所
- 母子保健担当課(福祉健康センター)
- 市
- 産婦人科学会、産婦人科医会

8. HTLV-1 キャリアが相談に訪問された時、あなたの部署内で対応できますか。(HTLV-1の基礎知識の情報提供、医療機関の紹介、専門医の紹介等)

地域	(ア) 対応できない	(イ) 対応できる	無回答
北海道		17	
東北	6	24	
関東甲信越	9	66	2
東京	4	17	1
東海北陸	6	30	1
近畿	11	32	
四国中国	1	42	

九州		45	
沖縄		4	
総計	37	277	4

《エリア別回答数及びその割合》

エリア別	(ア) 対応できない	(イ) 対応できる
九州・沖縄以外 (回答数/エリア回答合計)	37 (14%)	228 (86%)
九州・沖縄 (回答数/エリア回答合計)	0 (0%)	49 (100%)

(イ) 対応できる場合の対応内容 ※複数回答可

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
a 妊婦授乳指導	121	22	143
b 一般キャリア相談	180	43	223
c 抗体検査	35	25	60
d 医療機関紹介	126	36	162
e その他	11	0	11
回答数合計	473	126	

9. HTLV-1 関連の専門家（医療機関）との連携が取れていますか。取れている場合はその専門家（医療機関名）をご回答下さい。

(ア) はい（連携医療機関名：)

(イ) いいえ

地域	(ア) はい	(イ) いいえ	無回答
北海道		17	
東北	2	28	
関東甲信越	5	70	2
東京		21	1
東海北陸	3	34	
近畿	2	41	
四国中国	5	38	
九州	10	35	
沖縄		4	
総計	27	288	3

《エリア別回答数及びその割合》

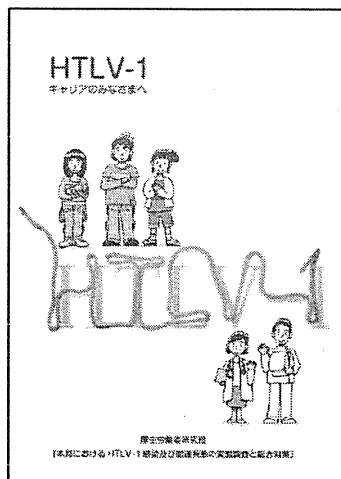
エリア別	(ア) はい	(イ) いいえ
九州・沖縄以外 (回答数/エリア回答合計)	17 (6%)	249 (94%)
九州・沖縄 (回答数/エリア回答合計)	10 (20%)	39 (80%)

10. あなたの部署への情報提供の方法についてはどのような方法が適している、もしくは使用し易いと思いますか。(複数回答可) ※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) インターネット上での情報提供	176	37	213
(イ) 相談対応の医療従事者専用のメールマガジンやウェブサイト	102	21	123
(ウ) パンフレットや教材等の紙媒体	209	37	246
(エ) 定期的な研修会等の開催	126	20	146
(オ) 相談者が相談できる窓口の設置(電話やメール、FAX等)	149	23	172

II. HTLV-1 関連パンフレットの使用状況及び内容に関する調査

a HTLV-1 キャリアのみなさまへ



1. パンフレットは部署内にパンフレットは残っていますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 来ていない	36	7	43
(イ) 全て配布した	15	3	18
(ウ) 配布しているが残っている	105	30	135
(エ) 全て使用していない。もしくは使用できない状況	108	9	117
無回答	5	0	5

※1 で (エ) と回答した方はその理由をご回答ください。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 相談員の参考資料で全て使用している	35	4	39
(イ) 運用が決まっていない	25	2	27
(ウ) その他	45	2	47

(ウ) その他理由 (九州・沖縄以外からのみ回答)

- 相談者がいない (33 件)
- 指導用として相談時に使用予定、今後の相談事業で使用予定 (5 件)
- 配布部数不足 (5 件)
- 電話相談で終了している

※1 で (イ)、(ウ) と回答した方は下記ご回答ください。

① どのように配布しましたか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 母子手帳配布時に合わせて配布	0	0	0
(イ) 母子手帳配布時に要望があった方に配布	1	0	1
(ウ) 所内の自由に取れるような場所に設置	49	21	70
(エ) 相談時のみ相談員より説明しながら配布	36	6	42
(オ) その他	29	6	35

(オ) その他の内容 (九州・沖縄以外からのみ回答)

- 相談担当者もしくは相談対応部署、管内保健所、医療機関等に配布 (28 件)
- イベントで配布

b HTLV-1 キャリアのみなさまへ よくわかる詳しくわかる HTLV-1



2. パンフレットは部署内にパンフレットは残っていますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 来ていない	30	8	38
(イ) 全て配布した	17	2	19
(ウ) 配布しているが残っている	107	29	136
(エ) 全て使用していない。もしくは使用できない状況。	108	10	118
無回答	7	0	7

※2 で (エ) と回答した方はその理由をご回答ください。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 相談員の参考資料で全て使用している	37	4	41
(イ) 運用が決まっていない	23	2	25
(ウ) その他	47	3	50

(ウ) その他理由（九州・沖縄以外からのみ回答）

- 相談者がいない（29件）
- 配布部数不足（7件）
- 今後の相談の際に使用予定（6件）
- 電話相談で終了している
- 市町村へ配布

※2で（イ）、（ウ）と回答した方は下記ご回答ください。

① どのように配布しましたか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 母子手帳配布時に合わせて配布	0	0	0
(イ) 母子手帳配布時に要望があった方に配布	1	0	1
(ウ) 所内の自由に取れるような場所に設置	52	22	74
(エ) 相談時のみ相談員より説明しながら配布	34	5	39
(オ) その他	33	4	37

3. a、bのパンフレットの内容についてご回答ください。（複数回答可）

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 分かりやすい	185	37	222
(イ) 専門用語が残っており、配布時には説明が必要	24	4	28
(ウ) より簡易なものが良い	26	2	28
(エ) より詳細な情報がほしい	10	4	14
(オ) 部分的（授乳方法のみ等）な情報のみをまとめた内容がほしい	20	3	23
(カ) その他	15	2	17

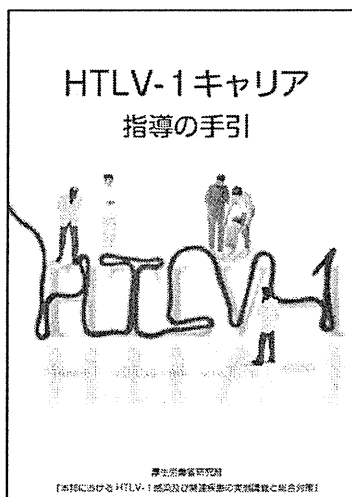
(オ)、(カ) の内容 (九州・沖縄以外からのみ回答)

- 授乳方法についての内容 (4 件)
- キャリア妊婦についての内容
- 感染予防についての内容
- 母乳、短期母乳具体的内容
- キャリアに限らず検査を受ける方への内容があると良い
- 色々なパターンのものがあった方がよい
- 簡易版もあるとよい
- 使用していない為不明 (4 件)
- 実際には保健所で相談・検査が受けられる体制が整っていないのに、保健所と明記されているので対応に苦慮することがある
- 保健センターで抗体の検査を受けることが可能と記載されているが、検査は不可能である。削除願いたい。
- ネット上から部分的
- 重複する部分もあるので、一冊にできないものか
- HU で失明する可能性は低い (長期的に良好と書いてありますが)、HAM は生命予後は良好、遺伝しない、唾液からは感染しない等明記した方がよいのでは。

4. a、b のパンフレットの追加配布について希望されますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	79	13	92
(イ) いいえ	153	32	185
配布希望部数	6,465	665	

HTLV-1 キャリア指導の手引パンフレットについて



1. パンフレットは持っていますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 来ていない	35	5	40
(イ) 相談員全てに配布された	97	29	126
(ウ) 厚生労働省のウェブサイトよりダウンロードした	23	4	27
(エ) その他	107	11	118
無回答	7	0	7

※1、で (イ)、(ウ) と回答した方は下記ご回答下さい。

① パンフレットの内容は分かりやすいですか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 分かりやすい	113	33	146
(イ) 専門用語が残っており、配布時には説明が必要	14	1	15
(ウ) より簡易なものが良い	15	7	22
(エ) より詳細（専門的）な情報がほしい	4	1	5
(オ) 部分的（授乳方法のみ等）な情報のみをまとめた内容がほしい	2	0	2

(エ)、(オ) の内容

【九州・沖縄以外】

- キャリア妊婦についての内容
- 授乳について相談された際、この手引きでは対応できない
- P30～31 の相談対応施設の TEL、メールアドレスを載せてほしい

【九州・沖縄】

- 陽性率の高い地域なので、より詳細な情報が知りたい

2. パンフレットの配布もしくは、追加配布について希望されますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	103	21	124
(イ) いいえ	144	26	170
配布希望部数	1,862	297	

HTLV-1 母子感染対策協議会の設置及び活動状況に関する調査

本研究班では、各都道府県のHTLV-1 母子感染対策協議会の設置状況と活動の実態を調査することにより協議会の問題点の有無、その内容を明らかにするとともに、HTLV-1 ウィルス感染症の専門家との連携の可能性を検討することを目的に全国の都道府県を対象に実施しましたので、その結果をご報告致します。

調査票発送日：2011年12月13日

調査票回収期限：2011年12月26日

集計対象：2012年1月6日までに調査担当事務局に到着した調査票

《調査内容及び集計結果》

回収率：81% (38通)

九州・沖縄以外 回収率：79% (31通)

九州・沖縄 回収率：89% (7通)

下記該当する項目に○もしくは、記載項目への記載をお願いします。

1. 昨年度末の厚生労働省から発表されたHTLV-1 総合対策において、母子感染予防対策の検討のために、各都道府県にHTLV-1 母子感染対策協議会（以下、協議会という）を設置するとされていますが、その内容について把握していますか。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア)はい	30 (エリア別：98%)	7 (エリア別：100%)	37 (97%)
(イ)いいえ	1	0	1 (3%)

2. 協議会は設置されていますか。(ウ)と回答された方はその理由をご回答下さい。

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) はい	9 (エリア別：29%)	6 (エリア別：86%)	15 (39%)
(イ) 年度内には 設置予定	4	0	4 (11%)
(ウ) いいえ	18	1	19 (50%)

(ウ) いいえ (理由) 複数回答可※上位3項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄
a リーダーとなる人がいない。	0	0
b メンバーがいない。誰を入れたら 良いか分からない。	1	0
c 医師会や医療機関、市町村等との 連携が取れない。	0	0

d 資金がない	1	0
e 具体的にどのような活動をすべきか分からない	5	0
f 優先度が低い	7	0
g その他	14	1 (次年度設置予定)

g. その他（理由）（九州・沖縄以外のみ）

- 県健康づくり審議会母子保健分科会を当該協議会とする予定だが開催日未定
- 県内の今年度の妊婦健診実施状況を踏まえ、来年度設置する予定
- 妊婦健診での陽性者の実態を把握していないため、本県においてどのような課題があるか分からない
- 必要に応じて設置できる体制
- 他の母子保健会議と併設することを検討中。今年度の会議の中でHTLV-1 母子感染対策について議論した
- 平成 24 年度実施に向けて準備中
- このテーマだけで設置する予定はない。周産期関連の会議の中で協議予定。
- 県内で HTLV-1 患者が確認されていないため
- 既存の会議で対応予定
- 検討中（2 件）
- 既存の会議の中で検討予定（メンバーがほぼ一緒の為）
- 今年度中に連絡会を開催予定
- 平成 24 年度設置予定（準備会開催済）

※1.で（ア）、（イ）と回答した方は協議会に関して下記にご回答下さい。

① 協議会の構成メンバーは何名ですか。※最多項目

選択肢	九州・沖縄以外	九州・沖縄	回答数
(ア) 5人以下	0	0	0
(イ) 6～10人	4	1	4
(ウ) 11～15人	7	4	11
(エ) 16人以上	2	1	3

② 協議会の会長名および所属をご回答下さい。（会長名は集計用紙を参照下さい。）

- 社団法人栃木医師会
- 富山赤十字病院 産婦人科
- 愛知県産婦人科医会長
- 滋賀医科大学地域周産期医療学講座
- 山口県産婦人科医会